

平成23年度 川崎市経済労働局の主な事業

● 新規事業 ● 拡充事業

1 オープンイノベーションの推進 企画課 31,511千円

研究開発機能や専門の人材の集積を活かした人的交流の促進や知的財産の創造・保護・活用、科学技術を活用した先端技術分野の研究開発の促進、連携基盤の強化を図ることにより、オープンイノベーションを推進し、国際競争力をもった産業を育成します。

1) 科学技術基盤強化事業 (28,511千円)

① 知的財産移転促進交流会の開催

交流会の開催とコーディネータによるサポートにより、大企業等から中小企業への特許等の知的財産移転や大企業と市内中小企業との共同開発等の支援を図ります。

② 知的財産スクールの開催

中小企業を対象とした体系的な知的財産経営に関する講義や、コンテンツ事業所を対象とした産業におけるコンテンツの利活用に関する講義を行います。

③ 知的財産シンポジウムの実施

国内外における知的財産に関する最先端の動向を発信します。

● 2) 広域連携イノベーション推進事業 (3,000千円)

産業政策に関わる自治体、支援機関、公設研究機関等の参加による「首都圏イノベーション推進会議」を開催し、首都圏のポテンシャルを活かした国際競争力強化のための連携の方向性を検討します。

2 コンテンツ産業の振興 企画課 5,500千円

映像、音楽等のコンテンツの活用による市内産業の活性化を目的として「川崎市コンテンツ産業振興ビジョン」を平成22年3月に策定しました。

本ビジョンに基づき、市内事業者の製品・技術をわかりやすく紹介・宣伝するコンテンツや市内事業者の技術を活用した新製品・活用方法のアイデアを募集する「かわさきコンテンツコンペ」を実施し、受賞作の実現に向け、活用研究会を実施します。また、活用研究会の成果等を発表する他、クリエイターと市内事業者との交流の場となる「川崎コンテンツ産業フォーラム」を開催します。

3 経済の国際化への対応 国際経済推進室 107,398千円

市内企業のアジアをはじめとする海外への販路開拓などビジネスの国際化を支援し、市内企業の国際競争力強化を目指すとともに、市内企業の環境技術・製品等の海外への移転を促進し、国際社会への貢献を目指します。また、外国企業・研究開発機関等の市内への誘致や市内企業との業務連携を促進し、地域経済の活性化を目指します。

1) 産業の国際化の支援 (25,954千円)

市内企業の海外販路開拓支援スキームのひとつとして、川崎市と都市間連携をしている海外都市との間で、相互に信頼できるコーディネート機関と戦略的に連携してビジネスマッチングの場をつくり、市内中小企業の海外販路開拓を支援します。

2) アジア起業家村構想の推進 (34,104千円)

アジアの活力を取り込みながら、「起業家の創業、ベンチャー企業の育成」、「起業家村入居・卒業企業を介した市内企業の海外販路開拓による地域経済活性化及び国際貢献」を促進します。

3) 国際的視点に基づく環境産業施策の推進 (47,340千円)

「川崎国際環境技術展」等を開催し、企業等の環境技術・製品や川崎の環境分野の先進的な取組等を紹介し、併せて国際的な商談会を実施します。多様で厚みのある環境技術の展示のほか川崎の特徴である環境分野の先進的な取組現場への視察会や国内外の関係機関によるセミナー等も行い、アジアを中心とした海外への環境技術移転の取組による国際貢献と産業の活性化を推進します。

4 消費生活の安全を守る 消費者行政センター 86,404千円

消費生活相談に関する相談体制を強化するとともに、消費者トラブルの未然防止のための啓発活動を拡充し、安全・安心な消費生活の確保を図ります。

1) 一元的相談窓口緊急整備事業 (8,622千円)

市民の消費生活に関する苦情・問合せ・要望に対して、消費者行政センター窓口・電話相談、区役所出張相談、電子メール相談等の様々な相談方法により、必要な情報の提供や事業者等とのあっせん等の処理を行います。

2) 消費者教育・啓発活性化事業 (6,017千円)

消費者被害の未然防止を目的として、身近な暮らしの問題を楽しく学ぶ「くらしのセミナー（講師派遣制度）」の開催やくらしの情報かわさき、悪質商法対策リーフレットの発行、ホームページ等インターネットを活用した情報発信等、幼児から高齢者まで年代に応じた幅広い消費者啓発を実施します。

5 商業者の活力を引き出す商業振興 商業観光課 310,598千円

再開発事業や区画整理事業等の基盤整備が予定されている川崎駅周辺を中心市街地や、拠点商業地区において、それに連動した商業活性化施策を展開します。また、地域コミュニティの核となり地域の課題を解決できるような魅力ある商店街の取組を支援します。

1) 地域特性に応じた商業の振興 (96,229千円)

商店街エコ化プロジェクト事業（第2期）により、街路灯を省エネ化することで、電気代低減及びCO2削減を実現し、街区の魅力アップと商店街のイメージアップを図ります。

2) まちづくり運動事業 (214,369千円)

かわさきTMOを中心に、川崎駅周辺の回遊性向上を目指した取組みを継続します。また、羽田空港国際化に伴うビジネスや観光で訪れる外国人の購買力の活用を図ります。

6 民間主導による観光振興 商業観光課 142,011千円

産業都市川崎の特性を活かした観光振興プランの基本理念、8つの戦略等に基づき、「都市観光地・かわさき」を目指して、市民・民間主導の新たな観光振興の推進を図ります。

1) 観光の振興 (74,126千円)

民間主導による観光振興の推進に向けた取組への支援、産業を核とした地域観光資源の創出・拡充、羽田空港6区市観光情報センターの運営など外国人観光客誘客促進に向けた取組、市民祭りの開催等、観光振興の推進を図ります。

2) 観光資源の創出・育成 (67,885千円)

・市制記念多摩川花火大会事業

多くの市民に楽しんでもらえる柔軟で企画力に富んだ大会の開催、一層の安全対策の推進、運営業務の効率化と開催体制の強化のための民間活力の活用等を図ります。

7 ものづくり産業の高度化支援及び操業環境の保全 工業振興課 36,702千円

市内中小企業の技術開発力の強化や新技術開発を促進することにより、ものづくり産業の高度化を推進するとともに、販路拡大に関する支援を行い、ものづくり産業全体の生産性の向上や国際競争力の強化を図ります。また、本市内陸部の工業系用途地域での中小製造業の操業環境の課題に対し、操業環境保全に向けた検討を進めます。